



北海道看護協会小樽支部

ミニかもめ

令和元年(2019年)9月30日

北海道看護協会

小樽支部長 大橋 とも子

日頃より、小樽支部活動にご協力を賜りお礼申し上げます。

少子超高齢化社会を迎え、全世代型の地域包括ケアシステムの構築が求められる中、看護職に多くの期待が寄せられております。高齢化率の高い小樽市に於いても、地域包括ケアシステムの構築が優先課題となっております。今年度は支部活動として、おたる地域包括ビジョン協議会と共同で「切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制の構築」なども行っております。また、地域全体の看護の質向上を目指し『高齢者の安全対策』、『看護師確保対策』などの事業も計画いたしました。活動の一部であります『ふれあい看護体験』の感想と風景を掲載いたします。看護師や他医療系を目指す高校生が各施設で血圧測定や食事介助、臨床検査室の見学などを行い看護師の仕事に触れていただく機会となりました。ご協力いただきました各施設の皆様には、感謝申し上げます。

貴重な体験をした参加者の感想文を掲載させていただきます。

ふれあい看護体験 小樽潮陵高校 数 麻希さん

私は、今回の「ふれあい看護体験」に参加して、患者さんと向き合う看護師の姿を生で見て体感することができました。看護師は常に人の気持ちを考えて察知し、一人でなく沢山の患者さんと向き合うため優先順位を考えて常に周りを見て働く姿にとっても魅了されました。

また、担当して下さった看護師の方の笑顔に参加している自分自身までも笑顔になり、私も看護師という仕事を通して周りの人を笑顔にできるような人になりたいと改めて思いました。この体験で、看護師を目指そうとより強く思う事ができました。今回担当して下さった掖済会小樽病院のスタッフの皆さん、お忙しい中、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



小さな看護師さん体験♡



☆

当支部では、協会組織の強化のため「地域包括ケア構築に向けた連携」としての看護管理者懇談会を企画しております。日々変化する医療現場に対応できるよう「終末期における意思決定・支援 臨床と在宅面から」

「緩和ケア」といった研修会を企画し、会員皆様の学習の場や交流の場の提供しております。また、市民の皆さまにも看護の仕事を知って頂くために、「看護の日」のイベントの企画や「後志いきいき健康祭り」への協賛をしております。

広報・出版委員会 岩上 香 佐藤 いづみ 中山 優子